

政務活動費とは？

地方自治法と条例に基づいて、議員の調査研究その他の活動に必要な経費の一部として、市長が議会の会派へ、所属議員1人あたり年額9万円を交付するものです。

平成25年度は、全ての会派が交付を受け、使途基準に基づき、適正に支出をしました。

※より詳しい金額、支出内容は市議会ホームページに掲載しています。領収証の写し等につきましては、議会事務局で閲覧できます。

平成25年度 政務活動費

各会派の支出内容(概要)

○明政会

塩原・五味・森川
西條・宮田

広島県府中市「小中一貫校を全市に導入した実績等について」北九州市「北九州スマートコミュニティについて」

武雄市「武雄市図書館の指定管理者制度導入について」長崎市「ささえあいプランについて」箕面市「緊急プラン・ゼロ試験について」教育委員会について「教育委員会について」「教育関係(幼・小・中)について」教育・環境問題・福祉と、当市のことからの課題解決に向けて先進地視察を行いました。

○新政会

牧野・中原輝・金田
金子・横沢

「Jリーグクラブとホームタウン自治体との連携について」兵庫県神戸市をホームとするヴィッセル神戸へ調査視察を行い、TDRのように、地域を対象とした割引などを行う試合を設け、観客動員を増やすことや、特産物などを試合会場で販売するなどクラブと自治体が連携し、サッカー

ーを通じた地域振興について理解を深めました。その他にICTによる学校教育や行政事務効率化についての視察を行いました。

○市民派連合

永田・丸山・古畑

行政視察では熊本県庁で「糖尿病予防対策の取組み」、同県八代市で「農産物の六次化の取組み」を、及び鹿児島市「環境未来館での環境教育」の取組みを学んだ。特に熊本県は産学官連携でブルーサークルメニューを考案し、県内飲食店の協力で実施している点、また環境未来館はデザイン性と世界視野の展示が斬新で、それぞれ参考になり、議会の質問や提言に役立てた。その他、新エネルギー関係の書籍等を購入し役立てた。

○自由民主クラブ

務台・青柳・永井

自由民主クラブは、行政視察経費と、塩尻市住宅地図など図書購入費に充てました。視察は、塩尻市の農業再生には、六次産業化の推進を強化すべきとの会派統一見解のもと、国と県及び市町村との連携による六次産業化の先進

事例、沖縄県を訪問しました。内閣府沖縄総合事務局農林水産部で、県としての六次産業化の推進の全体像、経過と現状、課題等について聞いた後、具体的事例を4件、現地視察を行いました。

○市政同志会 中原巳・青木

塩尻市で検討される新体育館建設について5千平方メートル規模の体育館の視察、福岡県久留米市、みずま総合体育館、大分県佐伯市総合体育館、中津市総合体育館を視察、どの体育館もメインアリーナ、サブアリーナなど体育館使用には十分であった。また平日昼間の利用率が高く市民の健康づくりの場として利用されている。茨城県鉾田市では、生産者による農業施設直売所と六次産業化の取組みについて視察をした。



○公明党 中村・山口

4月16日～18日まで、北海道釧路市・根室市にて、生活保護自立支援事業・森林事業計画・北方領土学習事業を行う視察し、先進事例として、質問の参考としました。2月20日、長野県庁林務部にて、信州Fパワープロジェクトの中の、サプライチェーンについて調査を行いました。公明議会だよりを2回、8ページをそれぞれ2千部発行し、情報の発信に努めました。資料作成のため、インクカートリッジを購入しました。

○日本共産党 柴田・鈴木

第55回自治体学校in新潟(後援・新潟県、新潟市、新潟市議会議長会、新潟町村会他)に参加し、講演などを通じて、福祉国家型地域づくりへ、幅広い社会層による参加型の活動の重要性を学び、道州制の課題等については、東日本大震災などの事例により研修を深め、分科会では、地域経済を活性化する公共事業への転換、良質な公共サービスにむけてどう取り組むか、今後の市政チェック、政策提案に生かす視点を学びました。